

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

令和3年7月1日 現在

団体名	株式会社 エフエム新津		
所在地	新潟市秋葉区新津東町2丁目5番6号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役社長 前田 正実	電話番号	0250-23-5000
	(有)新津清掃社 代表取締役社長	ホームページ	www.chat761.com/
市所管課	秋葉区役所 地域総務課	電子メール	mail@chat761.com
基本財産 (基本金)	68,000 千円	設立年月日	平成6年4月7日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	39,000 千円	57.4 %
	日佑電子㈱	2,000 千円	2.9 %
	セコム上信越㈱	2,000 千円	2.9 %
	新津さつき農業協同組合	2,000 千円	2.9 %
	(株)諸橋工務店	2,000 千円	2.9 %
	その他(20団体)	21,000 千円	31.0 %
設立目的	旧郵政省の「中央と地方との情報格差是正・地域の活性化促進を目的とした1市町村1波の周波数割当許可」という指針のもと、住民参加による地域に密着した情報を提供することにより、「地域の振興」「公共の福祉増進」「地域の防災」に寄与する。 とりわけ、「地域の防災」機能に重点を置き、住民生活の安全性の確保に役立てることを第一の目的とする。		
経営理念 経営方針	＜経営理念＞ ・「地域」に根ざし、「地域防災」に役立ち、「地域文化」を創造する。 ・「ラジオメディア」の便利さや楽しさ・快適さを、柔軟な感性で発想する。 ・新潟市域を舞台に、身近なラジオ局として市民や企業とともに多様な企画を実践する。 ＜経営方針＞ ・公平性 ・健全な組織、健全な財務運営 ・放送法等諸法令の遵守(コンプライアンス) ・地域社会への貢献とそれによる職員の幸せの追求		

2. 主要事業

事業名①	放送時間の販売事業						
事業概要	(概要) 放送番組及びCMの提供						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地域内のお店や会社の紹介など身近な情報の発信を通して、市内を中心とした地域の活性化						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
-	-	収入額	千円	36,390	35,385	36,522	36,500
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
スポットCM本数 (概数)	R3	本	22,600				
	R2	本	22,500	22,600	季節スポットCMの増加		
	R1	本	22,500	22,500	概ね計画通り		
	H30	本	22,500	23,000	環境庁の地球温暖化事業補助金のスポット収入の増加		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
タイム・放送番組 及びCM本数 (概数)	R3	本	7,400				
	R2	本	7,400	7,400	概ね計画通り		
	R1	本	7,400	7,400	概ね計画通り		
	H30	本	7,450	7,500	環境庁の地球温暖化事業補助金のタイム・CM放送収入の増加		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R3						
	R2						
	R1						
	H30						
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	所管課からは行政情報番組のほか、新型コロナウイルス感染症対策の番組の放送を委託した。昨年度は営業活動強化により、スポットCMの件数が増えたことなどによる増収があった。						

2. 主要事業

事業名②	放送番組等の制作事業						
事業概要	(概要) 放送番組及びCM素材・番組表・イベント等の制作						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 市に係るような情報発信を含めた番組やCMを制作し発信することにより地域に認知してもらう。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
-	-	収入額	千円	2,260	2,239	639	600
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
放送番組及びCM 素材の制作本数	R3	本	15				
	R2	本	15	15	概ね計画通り		
	R1	本	17	15	過大計上		
	H30	本	17	19	環境庁の地球温暖化事業補助金の番組・CM制作収入の増加		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
番組表・イベント 等の制作本数	R3	本	15				
	R2	本	20	15	新型コロナウイルス感染症により減少		
	R1	本	20	20	概ね計画通り		
	H30	本	22	20	花フルフェスタ等のイベントの減少による制作本数の減少		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R3						
	R2						
	R1						
	H30						
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価	所管課から新型コロナウイルス感染症対策の啓発に関する業務委託を行ったが、イベント件数の減少に伴い減収となった。						

2. 主要事業

事業名③	その他事業						
事業概要	(概要) 令和2年度イベントの司会受託他 イベントの音響設備受託						
	(市政へどのように寄与・貢献するのか) 地元を盛り上げるイベントの司会、音響設備受託による地域活性化						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
-	-	収入額	千円	5,687	1,540	480	500
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
司会・音響設備 受託数 補助金の受託	R3	本	10				
	R2	本	20	8	新型コロナウイルス感染症により イベント中止が相次ぎ減少		
	R1	本	22	23	ラグビーワールドカップ 関係イベントの司会 など		
	H30	本	25	26	環境庁の地球温暖化事業補助金等 の受託本数の増加		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R3						
	R2						
	R1						
	H30						
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R3						
	R2						
	R1						
	H30						

所管課の関わり及び
主要事業にかかる評価

所管課から区の各所属にエフエム新津の活用を促したが、イベントの件数の減少に伴い減収となった。

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
役員数	6	6	6	5
常勤	1	1	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員	1	1		
他団体からの派遣				
非常勤	5	5	6	5
市兼任	1	1	1	1
市職員OB				
他団体兼任	4	4	4	4
その他			1	
職員数	5	5	5	6
常勤	4	4	5	5
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	4	4	5	5
他団体からの派遣				
非常勤	1	1	0	1
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	1	1		1
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

令和3年7月1日 現在 (単位:人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	5	5	4	5
	合計	6	6	5	6
年齢構成	20代以下		1	1	1
	30代	2	1	2	1
	40代	2	2	1	1
	50代				3
	60代以上	2	2	1	
	合計	6	6	5	6

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予算)
報酬・給与等	17,898	17,957	13,625	14,200
内 市職員分	0	0	0	0
役員	2,760	2,760	460	0
常勤	2,760	2,760	460	
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	15,138	15,197	13,165	14,200
常勤	13,257	13,609	13,165	12,950
内 市職員分				
非常勤	1,881	1,588	0	1,250
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	2,760	2,760	460	
常勤職員	3,314	3,402	3,291	3,237
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	40,118	38,796	38,086
		営業費用	42,086	38,753	35,937
		売上原価	0		0
		事業費	24,334	22,679	21,923
		販売費・一般管理費	17,752	16,074	14,014
	営業損益	▲ 1,968	43	2,149	
	営業外損益	営業外収益	4,227	370	282
		営業外費用	196	19	73
		営業外損益	4,031	351	209
経常損益	2,063	394	2,358		
損特別	特別利益	41	37	0	
	特別損失	0	0	0	
	特別損益	41	37	0	
税引前当期損益		2,104	431	2,358	
法人税、住民税及び事業税		180	180	180	
当期損益		1,924	251	2,178	
前期繰越損益		▲ 29,524	▲ 27,600	▲ 27,349	
当期末処分損益		▲ 27,600	▲ 27,349	▲ 25,171	
処利 分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	▲ 27,600	▲ 27,349	▲ 25,171	

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	16,017	16,369	13,625
役員分	2,760	2,760	460
職員分	13,257	13,609	13,165

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
資産の部	資産の部合計	39,914	38,527	53,368
	流動資産	37,733	35,586	48,536
	現金預金	31,196	29,336	40,196
	受取手形	0	0	0
	未収金	6,572	6,287	8,280
	有価証券	0	0	0
	その他流動資産	▲ 35	▲ 37	60
	固定資産	2,181	2,941	4,832
	有形固定資産	1,465	2,224	4,105
	無形固定資産	545	546	546
その他投資等	171	171	181	
負債の部	負債の部合計	2,514	1,877	14,539
	流動負債	2,514	1,877	4,791
	短期借入金	0	0	1,760
	その他流動負債	2,514	1,877	3,031
	固定負債	0	0	9,748
	長期借入金	0	0	9,748
その他固定負債	0	0	0	
純資産の部	純資産の部合計	37,400	36,650	38,829
	資本金	68,000	68,000	68,000
	法定準備金	▲ 3,000	▲ 4,000	▲ 4,000
	剰余金	▲ 27,600	▲ 27,350	▲ 25,171
	うち当期末処分損益 (当期損益)	▲ 27,600	▲ 27,350	▲ 25,171
	1,924	251	2,178	
負債の部及び純資産の部合計		39,914	38,527	53,368

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市財政支出等の合計	21,842	21,407	21,557
補助金			
負担金			
交付金			
委託料	21,842	21,407	21,557
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

行政情報告知を目的として、行政情報番組、緊急告知ラジオ試験放送などを制作し放送しており、広報と一体となった行政情報、緊急性の高い災害等情報は有意義と思われる。新型コロナウイルスの影響でイベントなど取りやめになった事業があるが、新型コロナウイルス感染症対策事業など新規の事業もあったため、昨年度より微増している。

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常損益		2,063 千円	394 千円	2,358 千円
当期損益		1,924 千円	251 千円	2,178 千円
自己資本比率	純資産	93.7 %	95.1 %	72.8 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	1500.9 %	1895.9 %	1013.1 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	5.8 %	8.0 %	9.9 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	21.6 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	▲ 27,600 千円	▲ 27,350 千円	▲ 25,171 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

（2）団体の自立性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	49.3 %	54.7 %	56.2 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額 市委託料	98.4 %	100.0 %	100.0 %

（3）経営の効率性

指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度
総資本経常利益率	経常利益	5.2 %	1.0 %	4.4 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	5.1 %	1.0 %	6.2 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.0	1.0	0.7
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高 職員数	8,024 千円	7,759 千円	7,617 千円
職員1人当たり 経常利益	経常利益 職員数	413 千円	79 千円	472 千円
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	44.2 %	41.4 %	36.8 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費 職員数	4,438 千円	4,019 千円	2,803 千円
人件費比率	人件費	39.9 %	42.2 %	35.8 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	17.2 %	16.9 %	3.4 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称 [株式会社エフエム新津 中短期経営計画] 計画期間 令和元年度 ~ 令和3 年度
概要・数値目標	
<企業 理念>①企業の存在意義 ②経営姿勢 ③行動規範 <計画の実行>①収支の改善策 ②営業の方法 ③組織の改変 ④番組の制作とCMの制作 ⑤放送の仕方 ⑥HPの改編、サイマルラジオの有効活用と紙媒体広報との連携 ⑦職員研修 ⑧その他 <収支の改善>令和元年度の数値目標 ①計画1 年間180千円以上の時報CMスポンサーを3件取得 ②計画2 年間120千円以上の番組スポンサーを5件以上取得 ③イベント収入の獲得 ④補助金の獲得 ⑤職員の効率的使用による人件費の削減	
無	[]

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
有	就任時期 年度~ 依頼先職種 []	● 有	依頼時期 平成6 年度~ 依頼先職種 [公認会計士]
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 27 年度~ [会計ソフト・顧客管理ソフト導入による計数管理・顧客管理の徹底。(平成27年度に導入済)]
無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 22 年度~ [随時研修を実施]
無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定期間 平成18 年度~ 規定名称 [(株)エフエム新津情報公開規程]	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成19 年度~
			● 事業内容 平成17 年度~
			● 役員名簿 平成17 年度~
			● 役員報酬 平成18 年度~
			● 事業報告 平成17 年度~
			● 損益計算書 平成17 年度~
			● 貸借対照表 平成17 年度~
			● 事業計画書 平成17 年度~
無	未整備理由 []		● 予算概要 平成17 年度~

改善対応区分
 A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B: 改善の取組の効果が始まっている
 C: 改善の取組に着手
 D: 改善の取組に向けて検討中
 E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		緊急告知ラジオを導入している南区と阿賀野市は、秋葉区に次ぐ商圏である。情報収集、取材などを通じて出稿につなげられたい。					
改善のために取り組んだ内容		昨年から引き続き、秋葉区を中心に深い関わりを構築する					
取組みによる成果		秋葉区内での新規スポンサーの獲得につながった（これまで提供の無かった番組など）					
改善・対応区分		A	B	C	D	● E	
改善に向けた取り組み 評価指標	南区へのアプローチ	実施事項		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		計画	地元商工会との連携・情報収集	情報収集	→		
		実績	地元商工会との連携・情報収集、実施	区役所・商工会議所・JAのコーナー開始			
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 昨年から区役所・商工会議所・JAのコーナー開始				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、現在のスポンサーには定期的にアプローチをする				
		課題への対応	【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する				
	五泉市へのアプローチ	計画	地元商工会との連携・情報収集	情報収集	→		
		実績	地元商工会との連携・情報収集、実施	例年通りの受注有			
		進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 例年通りのスポットCMなどの受注				
		今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 しばらくは秋葉区を中心に関係づくりを行うが、南区と同じく現在のスポンサーには定期的にアプローチをする				
課題への対応		【今後の課題への対応】 秋葉区内での関係づくりが形になった後に対応する					

改善指示事項		単発の投稿は増加しているが、レギュラー スポンサーの減少が収益減の一要因となっている。企画提案型の営業活動に軸足を置いて安定した顧客を獲得する。(番組の見直し)				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	過去のスポンサーの掘り起こしや、番組ゲストへのアプローチ				
	取り組みによる成果	提供が無い既存レギュラー番組のスポンサー獲得				
	改善・対応区分	A	B	● C	D	E
	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	新番組の提案型営業	計画	提案・改善実施	既存番組優先	既存番組優先	既存番組優先
		実績	提案・改善実施	新番組を1つ開始		
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 アルビレックス女子バスケットボールの番組を開始				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続き既存番組の質を上げ、魅力を伝えることを優先する				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続き既存番組の質を上げ、魅力を伝えることを優先する				
	既存番組の営業	計画	提案・改善実施	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け	新規スポンサー付け
実績		提案・改善実施	4番組新規スポンサー獲得			
進捗状況		【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 令和2年度はレギュラー番組への新規のスポンサーを6社獲得				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 まだ提供の無い番組へのスポンサー付け 現スポンサーの継続				
課題への対応		【今後の課題への対応】 引き続き番組ゲストへのアプローチや、スポンサー付けキャンペーンなど企画での獲得を目指す				

改善指示事項		中短期計画（3か年）に基づく実行。				
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	組織の改変や経費の削減				
	取り組みによる成果	200万円超の黒字計上				
	改善・対応区分	A	B	● C	D	E
	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	収益向上計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
		実績	実施	実施・評価		
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、新規のスポンサー獲得や経費の削減などで黒字にすることができた				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 必要なものと不必要なものの振り分け				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 随時経費の見直しやスポンサー獲得と維持				
	中長期計画	計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
実績		実施	実施			
進捗状況		【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 計画にある企業の存在意義の再認識 経費の見直し				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 放送の質の向上 引き続いての支出の見直し				
課題への対応	【今後の課題への対応】 研修実施や随時収支の改善					

改善指示事項		BCP（事業継続計画書）の実行。				
改善に向けた取り組み	評価指標	改善のために取り組んだ内容	スタジオ・事務所・観覧スペースの新型コロナウイルス感染症対策			
		取り組みによる成果	感染者なし			
	改善・対応区分	A	B	● C	D	E
	BCP作成	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		計画	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
		実績	実施	実施		
進捗状況		【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 計画に基づき概ね達成している。				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 引き続きBCPの実行				
課題への対応	【今後の課題への対応】 引き続きBCPの実行					

改善指示事項		今後必要となる設備投資への対応方法を明確化すべきである。				
改善に向けた取り組み	評価指標	改善のために取り組んだ内容	老朽化した設備の更新			
		取り組みによる成果	令和2年度はスタジオのシステムの更新済み 令和3年度には老朽化した送信所設備を更新予定			
	改善・対応区分	A	● B	C	D	E
	設備投資	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		計画	Q-shotソフト入れ替え	表作成ソフトPC・OS入れ	放送設備更新	予定なし
		実績	Q-shotソフト入れ替え	実施		
進捗状況		【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 計画通り				
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 古くなった設備の更新				
課題への対応	【今後の課題への対応】 随時外部委託による設備点検の実施					

改善指示事項		同業他社と比較しての利点を、SNSなどを活用して積極的に情報発信し、営業活動につなげる必要がある。					
改善に向けた取り組み 評価指標	改善のために取り組んだ内容	積極的なFacebookの活用					
	取り組みによる成果	まだ成果には繋がっていないと感じる					
	改善・対応区分	A	B	C	D ●	E	
	実施事項	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	スポンサー獲得活動	計画	阿賀野市・五泉市企業の重点的アプローチ	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	既存番組のスポンサー付け	
		実績	阿賀野市・五泉市企業の重点的アプローチ	実施			
	進捗状況	【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 社内全員でのFacebookの活用					
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 SNSを通じての関係構築					
	課題への対応	【今後の課題への対応】 今以上の積極的なSNSの活用					
	認知度を上げる 取組み	計画	SNS・HP・チャットペーパー・ サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・ サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・ サイマルラジオによる情報発信	SNS・HP・ステッカー掲示・ サイマルラジオによる情報発信	
実績		SNS・HP・チャットペーパー・ サイマルラジオによる情報発信	実施				
進捗状況		【令和2年度までの達成状況及び今後の見込み】 SNS・HP・観覧スペースにスポンサー名の掲示 番組ステッカー作成、配布					
今後の課題		【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 エフエム新津を聴いてもらうための仕組みづくり					
課題への対応		【今後の課題への対応】 挨拶文郵送など積極的な地元事業所へのアプローチ					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	少なからず新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年受注していた案件が減少したが、サイマルラジオ協賛金や季節スポットCM、レギュラー番組の新規スポンサー獲得などで前期を上回る黒字を計上できた。
団体の自立性	広域放送局とは違う、コミュニティ放送局としての役割を再認識し、地元の発展に貢献したい。
経営の効率性・適正性	不必要なものを見極め経費の見直しをさらに進め、費用対効果を考えた効率の良い業務をしていきたい。
その他	第一の使命である災害・防災情報の発信のため、日ごろから多くの方に放送を聴いていただく仕組み作りに尽力する。

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項					
評価指標	実施事項	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>昨年から経営陣も新たに、本格的に経営改革に取り組んできた結果が現れた年であった。 今年は更なる経営の見直し、放送の質の向上に努め、地元との関係性を強固なものにしていきたい。</p>
--

【所管課による評価】

<p>4期連続で黒字を計上し、昨期は大幅な増益があった。営業活動の強化による放送収入の増収や経費の削減などの取り組みの成果と思われる。しかし、市への財政的依存度が依然として高いため、秋葉区における地域コミュニティ放送局として組織力、営業力、地域力の高い組織となるよう引き続き支援していく。また、地域コミュニティ放送の強みを生かし、地元に必要なとされる放送局を目指し、引き続き指導を行っていく。</p>
--

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
総合的な所見			
<p>・新規スポンサーの獲得に向けて、秋葉区を中心に取り組みを進めていることは評価できる。今後は通信インフラが整いつつある現代において、コミュニティFMの存在意義を明確にしながら、さらなるスポンサーやリスナーの獲得に向けてSNSの活用や他地域のFM局の取組みについて調査・分析に取り組む必要がある。</p>			
改善指示事項			
<p>・リスナーの獲得などを目的にSNSを活用しているものの、活用効果を測定する成果指標を設定するなど、分析や改善ができる仕組みが必要である。</p> <p>・他地域のFM局の成功事例について、情報収集、分析し、経営に活用していくことが必要である。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>スマートフォンを使いこなせない方でも手軽に使用できるラジオの有効性と、コミュニティ放送が有事での地域防災、平時での地域活性化に寄与することを周知するとともに、地域の情報を発信することにより放送の価値を高め、新たなスポンサーやリスナーの獲得に努める。</p> <p>令和4年2月28日 株式会社エフエム新津 代表取締役社長 前田正実</p>
--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項		リスナーの獲得などを目的にSNSを活用しているものの、活用効果を測定する成果指標を設定するなど、分析や改善ができる仕組みが必要である。				
評価指標	実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	Facebookページのフォロワー数	計画	600人	700人	750人	800人
		実績				
		今後の課題	<p>【取り組み状況を踏まえた今後の課題】</p> <p>現在のSNSを活用したリスナーの獲得については、取り組み効果を実感できていないのはご指摘のとおりである。今後はフォロワー数やコメント数の推移を分析し、効果が薄いようであれば別の手法についても検討していく。</p>			
	課題への対応	<p>【今後の課題への対応】</p> <p>現状の体制では十分な効果分析を行う余裕がないため、社外から協力者を募り、SNSの効果的な運用及び分析を行うよう取り組んでいく。</p>				

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項		他地域のFM局の成功事例について、情報収集、分析し、経営に活用していくことが必要である。				
評価指標	実施事項		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	他地域のコミュニティ放送局や異業種との交流	計画	延べ30回	延べ40回	延べ40回	延べ40回
		実績				
		今後の課題	<p>【取り組み状況を踏まえた今後の課題】</p> <p>実践すべきことはある程度把握しているが、より良い取り組みがあるか調査する。</p>			
	課題への対応	<p>【今後の課題への対応】</p> <p>成功事例等、参考になる書籍や他の放送局や異業種から学び、実践する。</p>				